

News Release



県下商工会と一体となり
小規模企業の支援を行っています

【令和 4 年 5 月期 小規模企業景気動向調査報告書】

本会では、県下商工会地区内小規模企業の景気を把握するため、商工会の経営指導員に協力依頼し、小規模企業景気動向調査を毎月実施しています。

このたび令和 4 年 5 月期の調査結果がまとまりましたので報告します。

1 調査概要

- (1) 調査時点 令和 4 年 5 月 31 日
- (2) 調査対象 県下 35 商工会（うち 34 商工会より回答）【回収率 97.1%】
- (3) 調査対象業種 製造業（食料品・繊維工業・機械金属）、建設業、小売業（衣料品・食料品・耐久消費財）、サービス業（旅館・洗濯・理美容）の 10 業種
- (4) 調査方法 商工会の経営指導員に対するアンケート方式
- (5) 集計方法 質問項目（業況、売上、仕入単価、採算、資金繰り）の「好転・増加・上昇」とする数値からそれぞれ「悪化・減少・低下」とする数値を引いた値

2 概要（トピックス）

【外出自粛の緩和等により、小売・サービス業の個人消費関連が回復し、2期連続で業況が好転した】

産業全体の業況 DI（景気動向指数・前年同月比）は-27.7（前月-30.9、前年同月-21.1）で、前月比 3.2pt 好転した。新型コロナの感染状況に落ち着きが見られる中、大型連休では人出の増加により個人消費関連の業況が回復した。一方で、原材料・原油価格高騰や円安、ウクライナ情勢等の影響を受け、自動車関連の製造業や建設業では業況が悪化している。

【製造業】

業況は-21.6（前月-22.6、前年同月-9.8）と前月に比べ 1.0pt 好転した。自動車関連の製造業では、原材料・原油価格高騰やウクライナ情勢、半導体不足、中国のロックダウン等の影響を受け、大手自動車メーカーで生産調整があり、業況が悪化している。

【建設業】

業況は-44.2（前月-38.2、前年同月-20.6）と前月に比べ 6.0pt 悪化した。建築資材・設備機器の不足や価格高騰等が続いており、業況が悪化している。

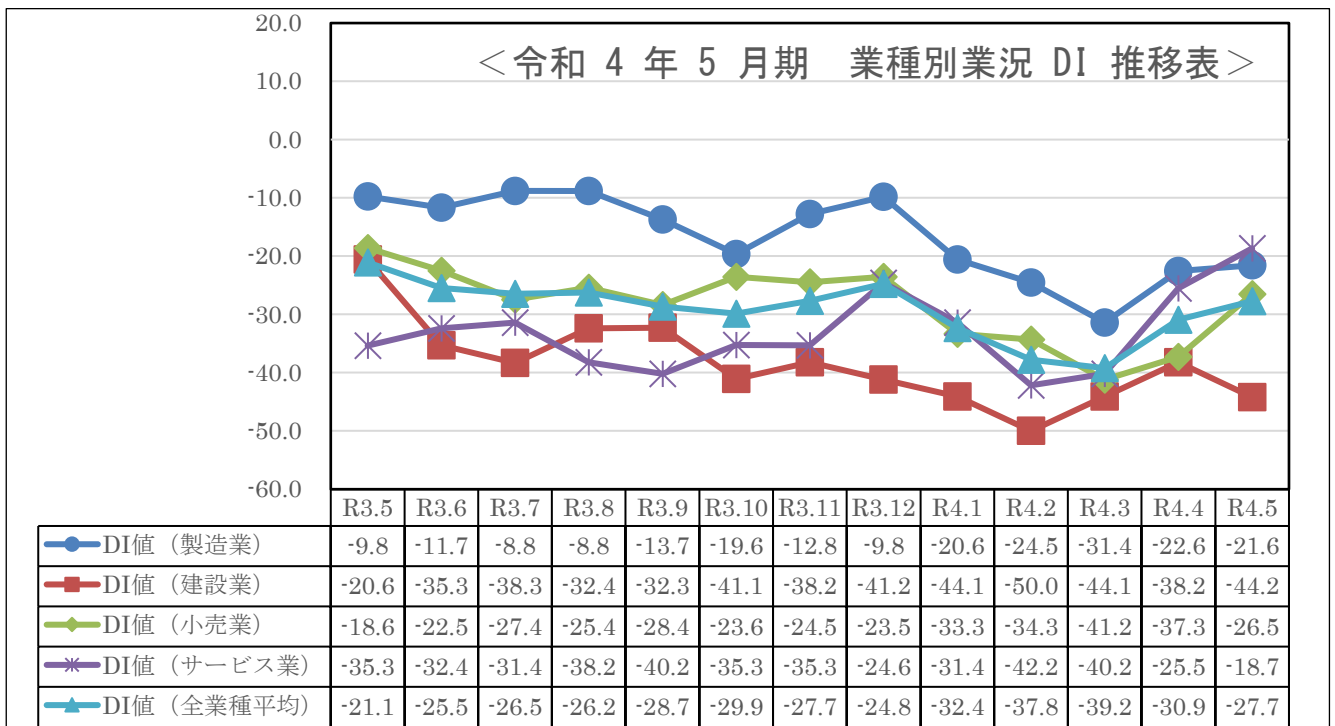
【小売業】

業況は-26.5（前月-37.3、前年同月-18.6）と前月に比べ 10.8pt 好転した。個人消費は回復傾向にあるものの、仕入価格上昇や品不足等があり、先行きが懸念される。

【サービス業】

業況は-18.7（前月-25.5、前年同月-35.3）と前月に比べ 6.8pt 好転した。外出自粛の緩和等により、大型連休は多くの人出で賑やかとなり、業況が好転している。しかしながら、原材料高騰により、料金の見直しを検討する状況が生じている。

3 本調査に関する問合せ 静岡県商工会連合会 産業振興課 TEL054-255-9811〔担当：増田・中村〕



＜経営指導員コメント抜粋＞

【製造業】（食料品製造業・繊維工業・機械金属業）

- ・輸入品目が減少しているため、仕入れ単価の上昇に繋がっている。（伊豆）
- ・原材料、燃料等の仕入れ単価は上昇傾向にあり、採算を圧迫している。その中でも、輸出関係の事業者は好調である。（富士駿東）
- ・自動車関連は生産調整やウクライナ情勢、半導体不足等により不安定な状況である。（中部）
- ・外資系企業の半導体工場が大規模投資を発表し、今後の雇用増や地域活性化に期待が高まっている。（中東遠）
- ・ロックダウンの影響で大手自動車メーカーが生産調整を行い受注量が3割減少した。（西遠）

【建設業】

- ・資材高騰や品不足の影響が大きく、納期遅れが発生している。（伊豆）
- ・材料価格高騰や設備機材の納入遅れ等が生じており、木材については良質な材料が確保できないといった声も聞かれている。（富士駿東）
- ・建材の流通が悪く、入手困難になり価格が上昇している。（中部）
- ・外材の納品遅延や価格上昇の影響が大きく、国産材への転換も視野に入れている。（中東遠）
- ・資材や外注費の高騰もあり、見積書の作成が難しい状況である。（西遠）

【小売業】（衣料品小売業・食料品小売業・耐久消費財小売業）

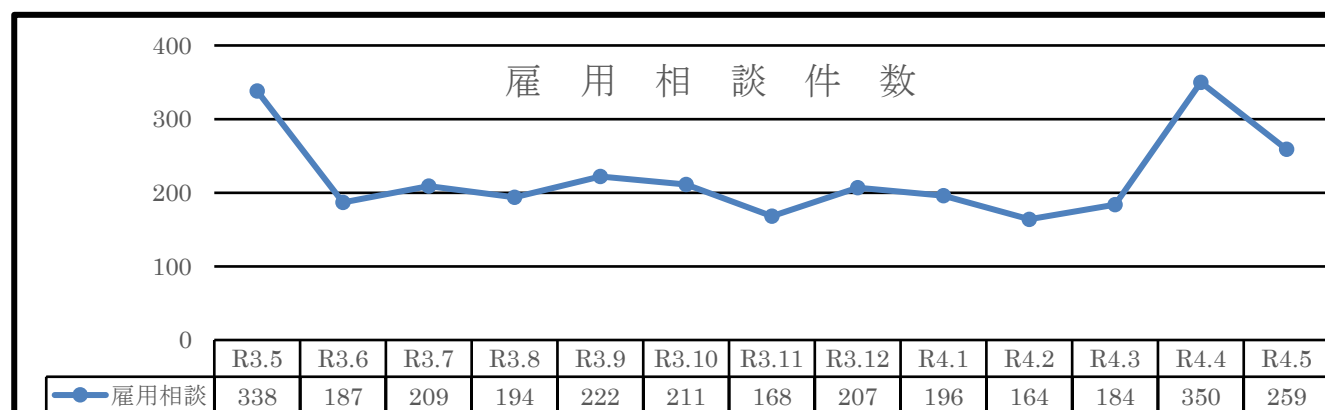
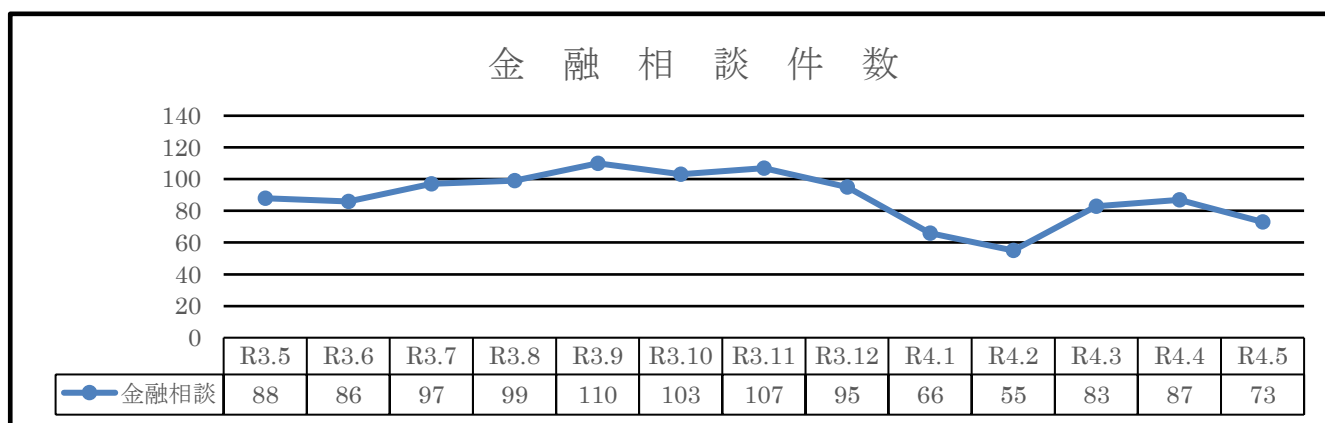
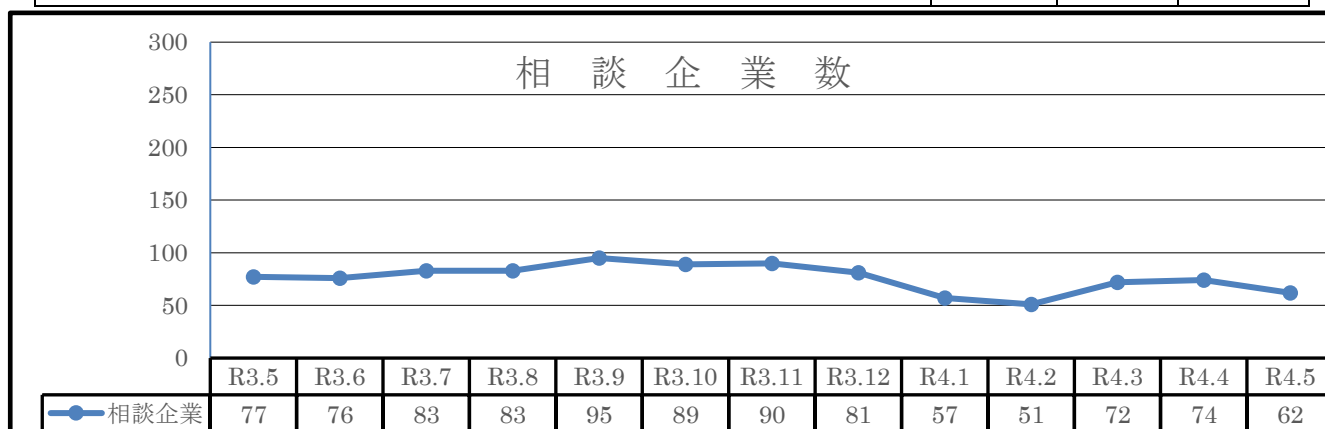
- ・食料品は個人消費が例年並みに戻ってきている。（伊豆）
- ・新型コロナ以外にも円安やウクライナ情勢等の複合的な要因で仕入れ価格等が上がり、今後の先行きが懸念されている。（富士駿東）
- ・海外からの輸入品が品薄となり、仕入れ価格が高騰している。（中部）
- ・衣料品は衣替え需要が見られるが、荷動きが悪い。（中東遠）
- ・家電販売は商品によって仕入れ難等があったが、以前よりは改善がされてきている。（西遠）

【サービス業】（旅館業・洗濯業・理美容業）

- ・旅館業では自粛緩和で回復の兆しが見られるが、食材等の原材料高騰による料金見直し等が検討されている。（伊豆）
- ・まん延防止等重点措置が解除され、GW中は多くの来客で混雑が発生するほど人出があり、徐々に賑やかな状況となった。（富士駿東）
- ・協力金や支援金等により、資金的には安心ができています。（中部）
- ・理美容業の業況は不変である。脱毛サービスを取り扱う店舗が増えている。（中東遠）
- ・洗濯業は夏物衣料の切り替えシーズンで需要があるが、先行き不透明である。（西遠）

金融・雇用相談実績月次報告(令和4年5月期)

内容別内訳 (※1件の相談で複数の対応をした場合はそれぞれにカウント)	今月	前月	前月比
【相談企業数】	62	74	-12
【金融相談件数】	73	87	-14
新規融資(借換えを除く)	37	54	-17
既存債務の借換え	32	32	0
借入れ条件変更	1	0	1
消費者金融・商工ローン関連	0	0	0
貸し渋り・貸し剥がし	0	0	0
その他	3	1	2
【雇用相談件数】	259	350	-91



【金融相談】

金融相談件数は、73件と前月(87件)に比べ14件減少した。前月に引き続き、主な相談内容は運転資金や借り換え等の既往債務に関する相談である。

<経営指導員コメント>

- ・新型コロナ関連融資の問合せがあり、特に運転資金での相談が多い。(伊豆)
- ・既往債務の借り換え相談は、運転資金の調達に関する内容であった。(富士駿東)
- ・創業1年以内の融資相談が増加している。(中部)
- ・飲食店の事業者ではリスクにより返済を停止しているが、団体客等の予約が入らず低調である。テイクアウトメニューも用意し対応しているが、以前の売上水準には戻っておらず、厳しい業況が続いている。(中東遠)
- ・全体として資金需要は落ち着いているが、新型コロナ関連融資の据置期間終了が近づいており、資金繰りを懸念する声が出始めている。(西遠)

【雇用相談】

雇用相談件数は、259件と前月(350件)に比べ91件減少した。雇用調整助成金や従業員の確保、就業規則関連等の相談があった。

<経営指導員コメント>

- ・会員事業所の慢性的な労働力不足が顕著になってきている。(伊豆)
- ・雇用調整助成金の支給上限が段階的に引き下げられたことにより、コロナ禍の影響を受けている事業所において雇用環境の変化(人員整理等)について懸念がある。(富士駿東)
- ・従業員の確保難が生じている。(中部)
- ・就業規則、定年後の継続雇用、時間外労働(36協定)等の相談があった。(中東遠)
- ・パート社員の雇用について相談があり、就業規則等の相談対応を行った。(西遠)

【その他商工会管内に関するコメント】

- ・5/30(月)から「河津応援プレミアム商品券」の予約を開始し、約1,300世帯が申込み、好評につき6/2(木)に予約を終了した。6/21(火)からは「河津町商工会プレミアム工事券」の予約受付を予定しており、今後はこれらの商品券の利用による町内消費の活性化が期待されている。(河津町)
- ・5月下旬から販売した「みなみいず応援プレミアム付商品券」は、5月末までに全体の90%分が販売済みである。(南伊豆町)
- ・5/3(火)の「富士山金太郎春まつり」は、神事と子供相撲が開催された。(小山町)
- ・5/8(日)に「第2回小マルシェ(蒲原)」、5/22(日)に「第3回軽トラ市(由比)」、5/29(日)に「浜石まつり(由比)」が開催された。(静岡市清水)
- ・9/25(日)までトーマスフェアが開催されている。(川根本町)
- ・6/18(土)に「舞阪えんばい朝市」を開催した。7/23(土)～24(日)に浜松市渚園で「ファンデイパークフェスティバル2022」が開催される。(浜名)